

福山大学 キャリア形成支援委員会 2020年度 自己点検・評価書

基準1. 理念・目的

領域: 使命・目的、教育目的

2020年度

キャリア形成支援委員会

中長期計画	<p>キャリア形成支援委員会の活動目的は、本学学生の職業意識の啓発並びに社会活動に必要な基礎学力の養成を目的として、本学の学生に対するインターンシップ等を実施することにより、自らの適性や能力を生かした職業選択を行うことができるよう支援することである。</p> <p>中長期目標として、インターンシップ参加学生数を2、3年次の学生数(薬学部除く)の10%とし、参加した学生はインターンシップを通じて、自己理解、職業理解、および社会に対する理解を深めるとともにミスマッチを減らす。</p>
-------	--

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	1-1. 大学、学部、学科、研究センター及び委員会等は、それぞれの使命・目的及び教育目的を設定していますか。
点検項目	① その意味・内容は具体的かつ明確ですか。
現状説明	学生のキャリアアップと進路選択のサポートのために、インターンシップを主とした学外研修を推奨し、事前事後の手当を厚くしている。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020
点検項目	② 個性・特色を明示していますか。
現状説明	<p>BINGO OPEN インターンシップでは、福山大学が所在する備後地域の企業を発掘して、学生のインターンシップの受け入れを活発にしており、教育プログラムに関しても福山大学方式が定着している。</p> <p>さらに、備後地域四大学において先進事例を提示しており、牽引役を果たしている。</p>
年度目標	現状を維持
年度報告	理念の現状は維持しつつ、コロナ禍の中でICT環境、オンラインを積極的に活用した実施に取り組んだ。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	<p>①インターンシップ報告書2020</p> <p>②学長室ブログ (事前研修: https://www.fukuyama-u.ac.jp/edu-center-posts/45516/)</p> <p>③学長室ブログ (事後研修: https://www.fukuyama-u.ac.jp/edu-center-posts/45541/)</p>
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 社会の要請や背景の変化について検討していますか。
現状説明	<p>近年の人手不足に鑑み、企業は優秀な人材を確保すべく、いろいろな企業努力をしている。</p> <p>その中であって、企業は自社のことを学生によく知ってもらうことも含めて、現場の仕事を体験してもらいインターンシップ・カリキュラムを組んで、大学との連携のもとに実践</p>
年度目標	現状を維持
年度報告	コロナ禍の元でインターンシップの実施を取りやめる大学が多い中で、職場環境や状況を伝えたいという企業の要請に応えるために、感染対策を協議検討した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	<p>①インターンシップ報告書2020</p> <p>②学長室ブログ (学外成果報告会: https://www.fukuyama-u.ac.jp/blog/43784/)</p>
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映
点検項目	① 使命・目的及び教育目的に対し、教職員の理解と支持は得られていますか。
現状説明	BINGO OPEN インターンシップは、自分未来創造室のスタッフを中心に、各学科から1名ずつ選出しているキャリア形成支援委員のバックアップのもとで円滑に運営している。
年度目標	各学科から選出されたキャリア形成支援委員の積極的な関与

年度報告	事前研修、インターンシップ志願票の添削指導、受け入れ企業への視察、事後研修、学外発表会の運営に教職員が積極的に関与し全ての行事が滞りなく行えた。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②キャリア形成支援委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 学内外へ公表し、周知していますか。
現状説明	BINGO OPEN インターンシップは、備後地域の企業をはじめ、四大学、高等学校まで幅広く公表している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②大学HP、自分未来創造室のページ (https://www.fukuyama-u.ac.jp/edu-center/find-and-create-your-future/)
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 中長期的計画に反映していますか。
現状説明	BINGO OPEN インターンシップを中心とした学生のキャリアアップに関しては、中長期計画に明確に反映している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 三つのポリシーに反映していますか。
現状説明	BINGO OPEN インターンシップは、まさしく知識・技能・態度を集大成するものであり、三ポリシーの実践型となるものである。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 教育研究組織の構成との整合性は取れていますか。
現状説明	各学科の目指す教育目標を実践的に達成すべくインターンシップを位置づけている。これには、自分未来創造室のスタッフと各学科から1名ずつ選出しているキャリア形成支援委員が連携して推進している。
年度目標	各学科から選出されたキャリア形成支援委員の積極的な関与
年度報告	委員は、BINGO OPENインターンシップの運営に関わる各種協力に加えて、各学科固有の要望に基づくインターンシップの対応にも主体的に取り組み、一方、当該委員会の活動に連結する就職、教務委員長も参画し、組織の整合性は充実した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②各受け入れ組織との覚書
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

基準2. 学生**領域： 学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応**

2020年度

キャリア形成支援委員会

中長期計画	<p>キャリア教育の一環として全学共通教育にキャリア教育科目として「キャリアデザインⅠ」～「キャリアデザインⅣ」、「BINGO OPEN インターンシップⅠ」、「BINGO OPEN インターンシップⅡ」および「長期学外活動Ⅰ」～「長期学外活動Ⅲ」を設け、「キャリアデザインⅠ」については全学科必修科目として実施しており、地域の関係機関との連携により、本学独自のカリキュラムとしてさらに充実を目指す。</p> <p>本学独自のインターンシップ・プログラム「BINGO OPEN インターンシップ」を展開しており、計画・運営にあたっては各学科からキャリア形成支援委員を選出し、インターンシップの学生への告知、指導、各イベントへの参加、および企業視察等を継続実施する。またインターンシップに特化して支援を行う「自分未来創造室」の機能を充実させる。</p> <p>インターンシップを通じて、職業意識の向上とともに、自らの適性や能力を生かした職業選択を行うことができるように継続支援する。</p>
-------	--

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	2-1. 学生の受入れ
点検項目	① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と学内外への周知を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れていることを検証し、学生受入れの改善に生かしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 入学生受入れ状況を昨年度及び今年度について検証し、その増減の原因を分析していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 入学定員に沿った適切な学生受入数を維持できていますか。できていない場合、どのような対策を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	2-2. 学修支援
点検項目	① 学修体制の整備のため、どのような教員と職員等の間でどのような協働をしていますか。また、それを学内外に公表し周知していますか。
現状説明	

年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 学修支援の充実のために、TA(Teaching Assistant)等を有効に活用していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	2-3. キャリア支援
点検項目	① 教育課程内外を通じて社会的・職業的自立に関するキャリア形成支援体制を整備していますか。
現状説明	キャリア教育の一環として全学共通教育にキャリア教育科目として「キャリアデザインⅠ」～「キャリアデザインⅣ」、「BINGO OPEN インターンシップⅠ」、「BINGO OPEN インターンシップⅡ」及び「長期学外活動Ⅰ」～「長期学外活動Ⅲ」を設けており、「キャリアデザインⅠ」については全学科必修科目として実施している。またインターンシップは、地域の関係機関との連携により、本学独自のカリキュラムを構築している。
年度目標	学生が教育課程および学内外での活動を通して社会人基礎力の向上ができるようにする。
年度報告	外部組織（JOI）と協力し、インターンシップをより有効に学生指導に活かすためのデータ分析を試み一定の成果を得たが、コロナ禍の影響で十分な母数が得られておらず当初目標は達成していない。
達成度	A
改善課題	母数の確保
根拠資料	①インターンシップ報告書2020
次年度の課題と改善の方策	インターンシップ参加学生の確保
点検項目	② 卒業生の進路に関する過去3年間にわたる資料を収集し、検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 資格取得やインターンシップを支援する体制を整備していますか。
現状説明	本学独自のインターンシップ・プログラム「BINGO OPEN インターンシップ」を展開。計画・運営にあたっては各学科からキャリア形成支援委員を選出し、インターンシップの学生への告知、指導、各イベントへの参加、及び企業視察等を実施している。またインターンシップに特化して支援を行う「自分未来創造室」を設置している。
年度目標	インターンシップ参加学生数を2、3年次の学生数(薬学部除く)の10%にすることを旨とする。
年度報告	コロナ禍の元でインターンシップの参加を躊躇する学生があったと思われ、参加率は目標を達成できていない。
達成度	B
改善課題	参加学生の確保
根拠資料	①インターンシップ報告書2020
次年度の課題と改善の方策	オンラインの積極的な活用など、如何なる状況に於いてもインターンシップが安心して継続できる仕組みを充実させる。
点検項目	④ 就職指導を適切に行い、就職の質及び内定率の向上に取り組んでいますか。
現状説明	インターンシップを通じて、職業意識の向上とともに、自らの適性や能力を生かした職業選択を行うことができるように支援している。
年度目標	インターンシップ参加にあたり、目的意識を持ち参加するように動機づけを行う。

年度報告	企業とのマッチング指導、事前研修、事後研修を通じて目標を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①履歴書指導記録 (Cerezoコース BINGO OPENインターンシップ2020) ②インターンシップ報告書2020
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	2-4. 学生サービス
点検項目	① 学生生活の継続のための経済的支援は実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 種々のハラスメントの発生防止に取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 課外活動(サークル活動、留学等の国際交流、社会貢献活動を含む)の活性化のために、どのような取り組みを行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	2-5. 学修環境の整備
点検項目	① 校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理をどのように実施しています
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② ICT教室、実習・実験施設、図書館等を活用していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 施設・整備のバリアフリー化やアメニティスペースの確保など、学生の利便性を高めるために、どのように取り組んでいますか。

現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 授業を行う学生数等を考慮した適切な施設・設備上の管理をしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 施設・設備の管理において、防災・防火の観点から整備点検を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ 施設内に保管している劇物・危険物の管理において、安全管理の観点から管理システムを整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑦ 学生及び教職員の安全確保のために、各部署に適切な安全管理教育の実施、災害時避難マニュアルの作成及び防災訓練等を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	2-6. 学生の意見・要望への対応
点検項目	① 学修支援に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	② 心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 学修環境に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制が整備されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

基準3. 教育課程**領域： 卒業認定、教育課程、学修成果**

2020年度

キャリア形成支援委員会

中長期計画

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目 3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

点検項目	① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーは、学内外に周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準（ルーブリック等の評価指標を含む）等の策定はどのように行われ、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を公表し、厳正に適用されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	3-2. 教育課程及び教授方法
点検項目	① カリキュラム・ポリシーを策定し、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの間に一貫性がありますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程を体系的に編成していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 教養教育は専門教育とともに十分に実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 教授方法を工夫・開発(ICTの活用を含む)し、効果的に実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ ディプロマ・ポリシーと卒業判定の整合性を考えていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	3-3. 学修成果の点検・評価
点検項目	① 全学及び各学科等のアセスメント・ポリシーの活用も含め、三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用をどのように検証していますか。

現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバックは、どのように実施されていますか。学修成果の点検・評価結果を教育内容・方法及び学修指導等の改善につなげていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

基準4. 教員・職員**領域： 教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援**

2020年度

キャリア形成支援委員会

中長期計画	BINGO OPENインターンシップを中心とした学生のキャリアアップ教育に関しては、自分未来創造室のスタッフと各学科から1名ずつ選出されているキャリア形成支援委員が連携して強力に推進している。 また、自分未来創造室は、インターンシップをはじめとしてキャリアアップに随時対応すべく、学生たちに常に開放されている。
-------	--

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	4-1. 教学マネジメントの機能性
点検項目	① 大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップが確立され、それが発揮されていますか。当該部署の長は当該部署の教学マネジメントにおいて適切にリーダーシップを発揮していますか。
現状説明	BINGO OPENインターンシップは、全学を挙げてのキャリアアップ教育の中心であり、学長のリーダーシップのもとに、キャリア形成支援委員長を運営リーダーとして、自分未来創造室のスタッフと各学科から1名ずつ選出しているキャリア形成支援委員が連携して推進している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②キャリア形成支援委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 当該部署では、教職員間で権限・役割を適切に分散し、かつそれぞれの責任を明確化した教学マネジメントを実施していますか。
現状説明	BINGO OPENインターンシップは、全学を挙げてのキャリアアップ教育の中心であり、キャリア形成支援委員長を責任リーダーとして、自分未来創造室のスタッフ（教員2名、職員2名）と各学科から1名ずつ選出しているキャリア形成支援委員が責任を持って連携して推進している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②キャリア形成支援委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	③ 職員の配置と役割の明確化などにより、教学マネジメントの機能性を高めていますか。
現状説明	BINGO OPENインターンシップは、全学を挙げてのキャリアアップ教育の中心であり、キャリア形成支援委員長をリーダーとして、自分未来創造室のスタッフ（教員2名、職員2名）と各学科から1名ずつ選出しているキャリア形成支援委員が連携して推進している。当該職員の職責は、インターンシップ受入企業の開拓、円滑な対応のための交渉、行政機関との連絡、インターンシップ実施期間中の受入企業との綿密な連携と、学生のキャリア教育に根差した産学連携のインタフェイスとなる事にあり、その実績を積んでいる。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②キャリア形成支援委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	4-2. 教員の配置・職能開発等
点検項目	① 当該部署の教育目的及び教育課程に即した資質を有する教員を配置していますか。また、当該部署の適切な運営及び継続性を担保する構成(性別、年齢、職階等)となっていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 大学設置基準、教職課程等の資格養成機関に求められる教員数を確保していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ FD(Faculty Development; 教育内容・方法等の改善)をはじめとする教員の資質向上に向けた取組みを行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	4-3. 職員の研修
点検項目	① SD(Staff Development; 教職員の個々の職能開発)をはじめとする大学運営に関わる教職員の資質・能力向上と教職協働への取組みを実施していますか。
現状説明	キャリア形成支援委員会では、インターンシップの事前事後研修、及び学内学外発表会を通して、教職員のスキル向上を図っている。
年度目標	各学科のキャリア形成支援委員の積極的な関与
年度報告	事前研修、インターンシップ志願票の添削指導、受け入れ企業への視察、事後研修、学外発表会の運営に教職員が積極的に関与し運営スキルは維持継承された。

達成度	A
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②学長室ブログ（事前研修： https://www.fukuyama-u.ac.jp/edu-center-posts/45516/ ） ③学長室ブログ（学外報告： https://www.fukuyama-u.ac.jp/blog/43784/ ）
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 大学運営の効率改善のために ICTの活用を推進していますか。
現状説明	自分未来創造室では、BINGO OPEN インターンシップの実施説明、学生からの入力情報のデータベース化に、Cerezo、OFFICE365等のICTを十分に活用した指導を行っている。また、委員間の情報共有にもOFFICE365Teamsを積極的に活用している。
年度目標	現状に加えて、協力企業の紹介、学生のエントリーシート入力、学生の入力情報のデータベース化と、そのデータを用いた企業体移出用の応募個人票の生成までのRPA化をCerezoおよびOFFICE365を積極的に活用して実現する。委員会活動でもオンライン会議等にICTを活用する。
年度報告	コロナ禍の影響で、オンラインでの学生対応、指導が必要となり想定以上に積極的にICT環境（OFFICE365、Cerezo）を活用した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020 ②Cerezoコース（BINGO OPENインターンシップ2020）
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目	4-4. 研究支援
点検項目	① 研究に専念する時間の確保、研究室の施設設備の整備等の研究環境を適切に管理していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 研究倫理の確立(規則の整備や検査等)と厳正な運用が行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 研究活動への資源の配分や運用は適正に行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 公的研究費の運営・管理(ガイドライン等)が整備され、周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	

根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
2020年度	キャリア形成支援委員会
基準6. 内部質保証	
領域: 組織体制、自己点検・評価、PDCAサイクル	
2020年度	キャリア形成支援委員会
中長期計画	BINGO OPENインターンシップに関しては、キャリア形成支援委員長をリーダーとして、自分未来創造室のスタッフおよび各学科から1名ずつ選出されているキャリア形成支援委員が連携して、運営法の自己点検を行っている。
2020年度	キャリア形成支援委員会
中点検項目	6-1. 内部質保証の組織体制
点検項目	① 内部質保証のための組織を整備し、責任体制を確立していますか。
現状説明	BINGO OPENインターンシップに関しては、キャリア形成支援委員長をリーダーとして、自分未来創造室のスタッフおよび各学科から1名ずつ選出しているキャリア形成支援委員が連携して、運営法の自己点検組織を構築している。
年度目標	各学科のキャリア形成支援委員の積極的な関与
年度報告	インターンシップ実施報告書、ならびに、委員会議事録を作成維持するとともに、委員会内自己点検評価委員会を開催し点検しする体制を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①キャリア形成支援委員会自己点検評価委員会細則
次年度の課題と改善の方策	
2020年度	キャリア形成支援委員会
中点検項目	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価
点検項目	① 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価が実施され、その結果を当該部署の教職員が共有していますか。
現状説明	BINGO OPENインターンシップに関しては、キャリア形成支援委員長をリーダーとして、自分未来創造室のスタッフおよび各学科から1名ずつ選出しているキャリア形成支援委員が連携して、運営方法の自己点検を行っている。また、自己点検報告書及び計画書を毎年作成し、全学自己点検評価委員会で検討されている。その結果に基づき、自己点検評価書にまとめられている。
年度目標	各学科のキャリア形成支援委員の積極的な関与
年度報告	年度末のキャリア形成支援委員会に於いて、当該年度の目標達成度の点検を行い報告書に遺すとともに、次年度の目標設定を協議し計画書を記し、それぞれの結果を委員会内で共有した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①キャリア形成支援委員会自己点検評価委員会議事録 ②第5回キャリア形成支援委員会議事録 ③OFFICE365 KARIN
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② IR(Institutional Research)等を活用した十分な調査・データの収集と分析を行っていますか。また、その結果を改善に活かしていますか。
現状説明	BINGO OPENインターンシップの受け入れ先企業の調査と学生のマッチングを十分に検討している。
年度目標	インターンシップ関係データの詳細な分析と今後の展望への活用。
年度報告	これまでの独自のデータ分析に加え、JOIの協力により全国との比較による分析ができる体制を整えることができた。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①インターンシップ報告書2020
次年度の課題と改善の方策	
2020年度	キャリア形成支援委員会
中点検項目	6-3. 内部質保証の機能性
点検項目	① 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組み(システム)をどのように確立し、その機能性を検証していますか。
現状説明	

年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② 教職員のコンプライアンスを確立するための体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	

2020年度

キャリア形成支援委員会

基準7. 福山大学ブランディング戦略**領域: 「福山大学ブランディング戦略」の点検・評価（本学独自基準）**

2020年度

キャリア形成支援委員会

中長期計画

2020年度

キャリア形成支援委員会

中点検項目 7-1. 福山大学ブランディング戦略の推進

点検項目	① 福山大学ブランディング戦略（ver. 2018）の概略について当該部署の学生及び教職員への周知を進めていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② 福山大学はブランディングを「広告ではなく、社会に貢献する観点から他にはない固有の魅力を引き出して他との差別化を図り、社会から選ばれること」と捉えています。この観点からブランディングにどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング戦略では「備後地域の産学官民連携を推進し、地域の教育資源を最大限に活用して人間性を高め、地域を愛し、地域で活躍し、地域から国際社会につながる『未来創造人』を育成すること」を方針としています。当該部署は、この方針の実現にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	

点検項目	④ 福山大学ブランディング戦略では、福山大学が備後地域の知の拠点として地域と共に育ち、地域創生に貢献することを目標としています。この目標の実現に向けて、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 福山大学ブランディング戦略では、建学の理念に基づき、「地域の中核となる幅広い職業人」を、育成する人材像としています。そのために、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「備後地域との密な連携のもとに進める教育研究」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑦ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「学問にのみ偏重しない全人教育」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑧ 福山ブランディング戦略は、これからも進化させて、さらに発展させる必要があります。ブランディング戦略のブラッシュアップにどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
2020年度	キャリア形成支援委員会
中点検項目	7-2. 福山大学ブランディング推進のための研究プロジェクト
点検項目	① 当該部署では全学的に展開しているプロジェクト研究の「瀬戸内の里山・里海学」にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② 福山大学ブランディング研究に必要な内部資金及び外部資金をどのように獲得していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング研究の成果をどのように社会に発表していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	